



# 朝 剣

朝剣通信229号 令和7年12月1日号

発行: 朝霞市剣道連盟(<http://asaken.suki-ari.net>)  
編集: 朝霞市剣道連盟事務局  
住所: 朝霞市本町1-12-3 朝霞市立武道館  
連絡先: 平井 hirai.shigeoh@mbm.nifty.com

## 昇段審査

朝霞市剣道連盟  
顧問 根本光造

この度、お陰様で剣道七段に昇段することができました。未熟な私を長きにわたり温かく、厳しくご指導くださいました先生方そして、今は亡き諸先生方に心より感謝申し上げます。先生方との出会い、そして、ご指導いただいた稽古の日々がなにより財産です。

振り返ってみれば、昭和五十年息子が小学二年生の時に朝剣に入会し、後援会のお手伝いをさせていただいたのが剣道との出会いでした。

昭和五十三年、今は亡き恩師、安田喜一先生に「剣道をやってみないか」と言われ、初めて竹刀を握り一級を取得、平成二年五段を取得するまで十三年費やし、自分の中ではこれで充分だと思いい、その後二十四年間、段審査への挑戦は行いませんでした。平成二十三年、朝剣の会長をおおせつかり六段を取得しなければと思っていたところ稽古仲間の先生に誘われて一緒に受審、試すつもりでしたが、たまたま合格をしてしまいました。

今回の七段受審も、先生方に進められ、初めての挑戦でしたので絶対にかかるわけがないと思いい、こちらまで試すつもりで受審したのですが、合格してしまいいました。六段・七段共、相手に恵まれた立ち合いです。

審査の立ち合いは、一人目は、充分な気合と発声で挑んだのですが、初太刀は当たりませんでした。しかし、当たらずとも気迫は緩めずしっかりと抜けて残身を取り、その後は、一進一退の攻防が続き互角の立ち合いで終わりました。(相手の先生も合格されました)

一人目は、構えた時点で「いつでも打てる」と確信しました。攻められる気配は感じられず、攻めると受けの体制に入ってしまう打突してもさばかれてしまうと思いい、攻め続けながら相手の気が緩んだ瞬間一気に打突、面を取ることが出来ました。その後は、「いつでも打てる」状態になり、我慢の連続でした。終わった時点で少し満足感が得られたのを覚えています。

受審の際、背中を押してくださった先生方に感謝し、御礼申し上げます。

八十五歳になった今、先生方そして子供たちと稽古ができることが何よりの喜びです。「生涯剣道」を目指し、七段の位に恥じぬよう精進し、残りの人生を豊かに過ごせよう努力を続けて参ります。引き続き諸先生方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ありがとうございます。

## 第67回朝霞地区剣道連盟剣道大会(11/23 新座市民総合体育館) 祝 優勝(二年連続)!!

### 朝霞市 優勝!(3勝)

対志木市 10勝2敗9分で勝ち○  
対和光市 11勝5敗5分で勝ち○  
対新座市 8勝7敗6分で勝ち○  
2位:新座市2勝1敗 3位:和光市1勝2敗  
4位:志木市3敗



十一月二十三日、新座市民総合体育館において、第六十七回朝霞地区剣道連盟剣道大会が行われました。この大会は朝霞地区剣道連盟に所属する四市対抗で行われる歴史ある大会です。小学生、中学生、高校生、一般から市の代表として選ばれた精鋭二十一名の対抗試合で行われました。朝霞市が三戦全勝で見事優勝(二年連続)を勝ち取りました。

連覇達成のメンバー

八将 辻選手

三将 伝川選手



四将 野崎選手



副将 櫻井選手



### 【21人戦 朝剣関連からの出場選手】

総括: 木村 健 監督: 山本 孝 16将: 本橋真佑  
14将: 関 真士 中堅: 林 鷹平 9将: 山本菜々美  
8将: 辻 七海 4将: 野崎勝聡 3将: 伝川貴洋  
副将: 櫻井英行  
審判: 中口雅文 鈴木孝昌 石井勝隆 小山哲広

## 第67回朝霞地区剣道連盟剣道大会 結団式(10/26 市武道館)

10月26日に、朝霞地区剣道連盟剣道大会(四市対抗戦)に向けて朝霞市チームの結団式並びに稽古会を市武道館において実施しました。一人ずつ自己紹介を行った後、全員で稽古を実施し、結束を固めました。



## 昇段審査結果

11月14、15日(エスフォルタアリーナ八王子) 七段: 星川奈穂美 六段: 星川駿人

## 新入会員

星川駿人(ほしかわ たかひと) 特別会員 五段